

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和8年2月6日（金）

### 2 確認箇所

覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）（図1）

### 3 確認項目

覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）解消作業の状況

### 4 確認結果の概要

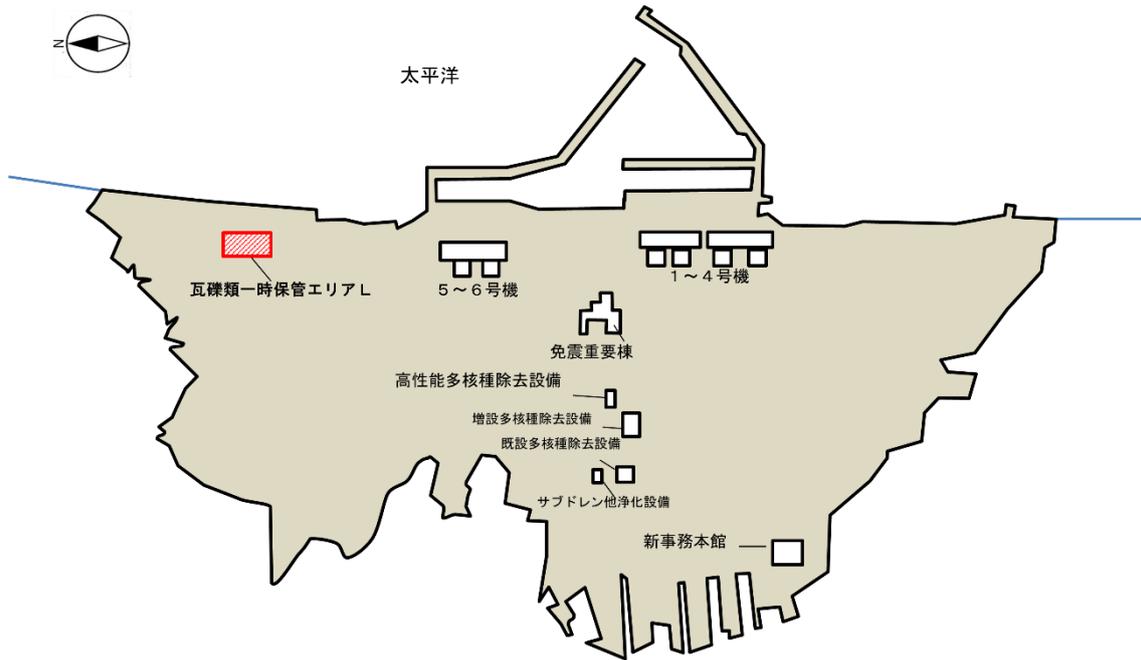
東京電力は、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外における一時保管を令和10年度中に解消することを目指している。それに向けた取組の一環として、覆土式一時保管施設<sup>※</sup>（瓦礫類一時保管エリアL）に一時保管された瓦礫類を取り出し、金属容器へ収納した後、固体廃棄物貯蔵庫での保管を計画している。

当該エリア内には、第1槽から第4槽までの計4つの一時保管槽が設置されているが、第4槽では遮水シート、覆土、大型土のう等の撤去が完了し、それらの下部に保管されている瓦礫類の撤去・運搬が開始されたため、当該エリアの状況を継続的に確認している。（前回確認：令和7年11月19日）

- ・放射性物質の環境への飛散を抑制するため、第4槽全体を覆う仮設ハウス内で瓦礫の撤去及び金属容器への収納作業が実施されていた。作業が進んだため、遠隔操作ではなく、仮設ハウス内に作業員が入って作業が行われていた。（写真1）
- ・監督者は、仮設テントに隣接したプレハブ小屋内から、仮設テント内に設置された複数のカメラの映像を監視することにより、作業状況を確認していた。（写真2）
- ・仮設ハウス内外各所の空气中放射性物質濃度が連続ダストモニタにより常時測定されていた。指示値を確認したところ、いずれの場所においても異常値は認められなかった。（写真3）
- ・第4槽近傍の空間線量率は0.9  $\mu\text{Sv/h}$ であった。（写真4）
- ・第4槽を覆うハウスに破損等の異常はなかった。また、第1槽から第3槽について目視で確認した範囲では、瓦礫類の飛散や流出等の異常は認められなかった。（写真5）

※ 覆土式一時保管施設

高線量（ $\sim 30 \text{ mSv/h}$ ）の金属やコンクリート等の瓦礫類に覆土遮へいを施した一時保管エリア。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) 仮設テントの状況 (搬出口)



仮設テント

(写真2①) プレハブ小屋の状況



(写真2②) 監督者の作業確認状況



(写真3) 連続ダストモニタの状況



(写真4) 空間線量率の測定状況



(写真5) 第2槽の状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。